

作成日 2019年 2月15日
改訂日 年 月 日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品の名称 : ライオンクリアウォッシュEX
 供給者の会社名称 : ライオンハイジーン株式会社
 住所 : 東京都墨田区錦糸1-2-1 アルカセントラル6階
 担当部門 : 企画開発部 第1研究所
 電話番号 : 03-3616-3159
 FAX番号 : 03-3616-3208
 緊急連絡電話番号 : 03-3616-3159
 製品の用途 : 洗濯用合成洗剤
 整理番号 : 2201

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

健康に対する有害性
 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 区分1A
 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : 区分1
 生殖毒性 : 区分2
 環境に対する有害性
 水生環境有害性(急性) : 区分2
 ※ 上記で記載のない危険有害性は分類対象外か分類できない

【GHSラベル要素】

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険
 危険有害性情報 : 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
 水生生物に毒性

注意書き

安全対策(予防策) : 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
 取扱い後はよく洗うこと。
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
 環境への放出を避けること。
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
 使用前に取扱説明書入手すること。
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

応急措置(対応策) : 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して
 いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。
 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。
 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

保管(貯蔵) : 換気の良いところで容器を密閉して保管すること。
 施錠して保管すること。

廃棄 : 内容物/容器を許可を受けた産業廃棄物業者に委託し、関連法規等を順
 守し廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
 化学特性 : 弱アルカリ性液体
 成分及び濃度

化学名	CAS番号	濃度及び濃度範囲	官報公示整理番号(化審法)
ポリオキシエチレンアルキルエーテル	9002-92-0	26%	7-97
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩	251155-30-0	19%	

界面活性剤(60%)

4. 応急措置

吸入した場合 : 直ちに患者を風通しの良い場所へ移動させ、安静にする。気分が悪いときは、医師の診断を受ける。
 皮膚に付着した場合 : 直ちに多量の水で十分に洗い流す(液が付着した衣服や靴などは直ちに脱ぐ。異常がある時は医師の診断を受ける)。
 目に入った場合 : こすらず直ちに流水で15分以上洗い流す(コンタクトレンズは外せる場合には外す)、速やかに医師の診断を受ける。
 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせず、口をすすぎ、水を飲ませる。異常がある場合は医師の診断を受ける。
 応急措置をする者の保護 : 救助者は炊事用手袋、保護メガネなどの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤 : 粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水
 使ってはならない消火剤 : 特に無し
 特有の危険有害性 : 火災時に刺激性もしくは有害なガスが発生する。
 特有の消火方法 : 速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能の場合は、容器及び周辺に散水して冷却し、容器の破損を防ぐ。
 火元への燃焼元を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。
 消火作業は、風上から行う。
 消火を行う者の保護 : 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用する。
 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。
 風上から作業し、風下の人を退避させる。
 環境に対する注意事項 : 漏出物を直接河川や下水に流してはいけない。
 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 少量の場合は、吸着剤(おがくず、土、砂、ウエス等)で吸着させて、密閉できる空容器に回収する。
 大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。
 二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに取り除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
 技術的対策(局所排気・全体換気等) : 取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼および身体洗浄を行うための設備を設置する。
 取扱いの都度、容器を密閉する。
 目、皮膚、衣類に付けないこと。
 保護手袋および保護眼鏡/保護面を着用すること。
 安全取扱注意事項 : キャップを開ける時は原液が飛び出さないように注意する。また、容器を移動する時は、キャップをしっかりと閉める。
 他の薬剤、洗浄剤とは混ぜない。
 当社指定の専用容器以外の他の容器に移し替えて使用しない。
 使用済みの空容器はよく洗ってから処理する。
 用途以外に使用しない。
 子供の手の届かない場所に保管する。
 接触回避
 衛生対策 : アルカリ性なので、酸性の製品との接触を避ける。
 清浄な作業服、帽子、安全靴等を着用。
 保管
 安全な保管条件(適切な技術対策、及び混触禁止物質との分離) : 換気のよい場所で容器を密閉し、直射日光や高温多湿の場所を避けて保管すること。
 保管条件(適切な保管条件及び避けるべき保管条件) : 屋内保管を行う。水、雨の濡れに注意する。破袋を防ぐため乱暴な取扱いは避ける。横に倒して保管しない。子供の手の届くところに保管しない。

- 安全な容器包装材料(推奨材料及び不適切材料) : 製品使用容器に準じる。
- 8. ばく露防止及び保護措置**
- 管理濃度 : 設定されていない。
 許容濃度-日本産業衛生学会 : 設定されていない。
 許容濃度-ACGIH : 設定されていない。
 設備対策 : 取扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。
 保護具
 呼吸用保護具 : 通常の取扱いでは特に必要はない。
 手の保護具 : 不浸透性(耐薬品、耐油、耐溶剤)保護手袋
 眼の保護具 : 保護眼鏡、保護面
 皮膚及び身体の保護具 : 長袖作業着、保護衣、ゴム前掛、保護長靴
- 9. 物理的及び化学的性質**
- 外観(物理的状态, 形状, 色など) : 淡黄色透明液体
 臭い : フローラルの香り
 pH : 8.0~10.0(25°C、原液)
 引火点 : データなし。
 比重(相対密度) : 1.04(20°C、代表値)
 溶解度 : 水に可溶。
- 10. 安定性及び反応性**
- 反応性 : 通常条件では安定。
 化学的安定性 : 通常条件では安定。
 危険有害な分解生成物 : データなし。
- 11. 有害性情報**
- 急性毒性(経口) : 製品としてデータなし。
 急性毒性(経皮) : 製品としてデータなし。
 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 製品としてデータなし。
 ポリオキシエチレンアルキルエーテルとしては以下の通り。
 ウサギの正常及び擦過皮膚に本物質(15及び20%水溶液及び原液)0.5mLを24時間適用した実験で、15及び20%水溶液はどちらの皮膚においても軽度の刺激性を示しているが、原液は正常皮膚で軽度、擦過皮膚で強度の刺激性を示す。
 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩としては以下の通り。
 RTECS(2006)のウサギを用いた皮膚刺激性試験の結果の記述に、24時間適用で「中等度(moderate)の刺激がみられた」、及びIUCRID(2000)のウサギを用いたOECD TG 404に準拠した皮膚刺激性試験の結果の記述に「刺激性を示した」とある。
- 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : 製品としてデータなし。
 ポリオキシエチレンアルキルエーテルとしては以下の通り。
 ウサギの眼に0.1mL適用した試験で強度の刺激性を示す。
- 発がん性 : 知見なし。
 生殖毒性 : 製品としてデータなし。
 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩としては以下の通り。
 CERi・NITE有害性評価書 No.5(2005)、EHC 169(1996)に記述されている直鎖アルキルベンゼンスルホン酸(LAS)及びその塩[アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る]に関するデータによれば、経口経路では親動物および次世代に影響はみられていないが、経皮経路で、親動物に一般毒性影響のみられる用量で、受胎率の低下や次世代に奇形がみられている。
- 12. 環境影響情報**
- 生態毒性 : 製品としてデータなし。
 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩としては以下の通り。
 藻類(マイクロシステリス)の96時間EC50=0.9mg/L(EHC169、1996)。
 生体蓄積性 : 知見なし。
- 13. 廃棄上の注意**
- 残余廃棄物 : 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
 汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号

: 国連の基準で評価して危険物に該当しない。

国内規制

陸上輸送

: 消防法、毒劇物取締り法、高圧ガス保安法、道路法等に定められている輸送方法に従う。

海上輸送

: 船舶法に定められている輸送方法に従う。

航空輸送

: 航空法に定められている輸送方法に従う。

特別の安全対策

: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

消防法

: 非危険物

労働安全衛生法

: 該当しない

毒物及び劇物取締法

: 該当しない

化学物質排出把握管理促進法

: 第一種指定化学物質に該当する (No.407: ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る))
第一種指定化学物質に該当する (No.30: 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14の混合物に限る))**16. その他の情報**

引用文献

1) NITE 化学物質管理分野 GHS関連情報
2) 原料メーカーのSDS

改訂情報

2019年 2月15日 策定

記載内容の
取扱い

この情報は、新しい知見に基づき改訂されることがあります。
記載内容は現時点で入手できた資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、含有量、物理・化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の実施を前提としたものなので特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全策を実施の上、ご利用ください。